

平成29年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	マクロ経済学

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。なお、問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。

問1 財市場と貨幣市場からなる短期の閉鎖マクロ経済に関して、以下の諸関数が与えられている。

消費関数： $C(Y) = cY$ 、投資関数： $I(r) = -ar$ 、名目貨幣需要関数： $L(Y, i) = kPY - bi$ 。

ここで、 Y は国民所得、 r は実質利子率、 i は名目利子率を表す。 P は物価水準（定数）としよう。また、定数 $0 < c < 1$ 、 $a > 0$ 、 $k > 0$ 、 $b > 0$ を仮定する。さらに、 G を政府支出、 M を名目貨幣供給量（十分に大きい数）とする。さらに π を期待インフレ率（定数）とせよ。いまフィッシャー方程式 $i = r + \pi$ が成り立っている。このとき、以下の設問に解答しなさい。ただし言及されていない経済変数（輸出、輸入、為替レート、租税、等々）は考慮しなくてよい。

- (1) 財市場の均衡条件および貨幣市場の均衡条件を示しなさい。
- (2) 上記の経済モデルの均衡における国民所得、実質利子率、名目利子率を求めなさい。
- (3) いま日銀総裁がインフレ率を上げる政策を行うと発表した。これを π の上昇と考えよ。このとき、国民所得、実質および名目利子率はどのように反応するであろうか？説明しなさい。
- (4) 労働市場も考慮する。いま経済が完全雇用水準にあるとする。すなわち、 $Y = Y_F$ （定数）で与えられている。このとき、 π の上昇は物価水準にどのような影響を及ぼすか、説明しなさい。

問2 ある経済の生産関数を以下のように仮定する。

$$Y = AK^\alpha(LG)^{1-\alpha} \quad (0 < \alpha < 1)$$

ここで、 Y は産出量（GDP）、 K は民間資本、 L は労働量、 G は公共サービスを表し、 A と α は定数とする。いま、労働量が一定で、 $L = 1$ としよう。公共サービスの財源がすべて所得税でまかなわれるとき、以下の問に答えなさい。

- (1) 所得税率を m として、政府の予算制約式を示しなさい。
- (2) 資本の限界生産性を求めなさい。
- (3) 所得税率の上昇が経済成長に与える影響を説明しなさい。

以上